

市民と議会との語る会実施報告書

日	時	令和3年10月5日(火) AM 10 : 00 ~AM 11 : 00
会	場	生涯学習センター eホール
出席議員		三田村輝士、清水一徳、前田修治、安立里美、吉田啓三、橋本弥登志、桶谷耕一(敬称略)
参加者		民生委員児童委員協議会連合会 8名
開会挨拶・ 司会・報告・記録		挨拶:三田村輝士 司会:前田修治 記録:清水一徳・桶谷耕一
協議事項		1部【事業概要説明】 民生委員児童委員協議会連合会から、事業概要について、説明を受ける。 1. 会の目的、組織、行事等について説明を受ける。民生委員・児童委員の欠員が出ている地区もある。 2. 毎月、各地区代表8名で会長会を開催し、国・県・市からの情報を共有する。各地区においても協議会を実施し、会長会での情報を伝え、地区での情報を共有している。 3. 年1回、機関紙「えちぜん民生」を発行し、委員の活動報告を行っている。 4. 5つの専門部会(高齢福祉・障害福祉・児童福祉・地域福祉・生活福祉)を設け、勉強会や研修を行っている。
		2部【意見交換・質疑応答】 Q(委員)民生委員の欠員が出ており、なり手不足が生じている状況について。 A(連合会):一つの地区で欠員が出ており、病気のためである。 夜、または昼の研修が負担となったり、または、活動内容に対する情報不足が原因で1期で辞める方もいる。区長さんに理解をもらい、新しい人を探すこともある。 民生委員、児童委員の組織は区長さんに選んでもらって成り立っている。このため、委員が区長に物申すことが出来ない。民生委員は責任がある存在のため、最初の選出の段階で苦慮している。 【連合会からの意見等】 ・民生委員の行事が凄く多い。年々多くなっている。以前の民生委員は自営業が多かったが、サラリーマンが多くなった。続けていける人を選んでほしい。夜の会議は女性が難しいが、逆に昼は女性が会議に出やすい。勤めがあると昼は出られない。

	・小学校区の単位で地域ごとに活動をしている。定年延長で仕事を続けながらやっている人が多い。夕方、昼の会議が多い。地区によって自治振興会の福祉部会も抱えている。王子保地区は学童保育、放課後児童クラブをやっている。80名の方が関わっている。思ったより仕事が多い。自治振興会の活動と民生委員の活動が被る。負担軽減をしてほしい。 ・地区協議会は夜と決めている。夜なら出られる。男性が増えてきているが、総数では女性の方が多い。1期目は一生懸命してしまうので、深く立ち入って苦情がくる。女性だからやりにくいことはない。 ・今立地区には33名の民生委員・児童委員がおり、多い。山間地では6町内を担当している人もいる。輪番制や周り番で止む無く引き受け、会議などを欠席する人も多い。研修を受けないから役割が分からない。期限ぎりぎりで民生委員・児童委員が決まる。 ・コロナ感染の影響で、福祉部会、個別訪問、高齢者のつどいが出来ていない。コロナの感染情報を受けてつどいが休みになっている。市から活動の推進をしてほしい。 ・第1地区では、全町内でつどい開催が出来ている。テレビだけが話し相手で他の人との会話がな。町内の高齢者だけならば、たまに会うことはいいのではないか。感染対策に湯呑を紙コップにしたりしたうえで、みんなの顔を見て話をする。同じように対策して子供との関わりもしている。堀川町の場合は一つの会館に集まることができて喜んで。チームを組んで感染対策を行えば、つどいは出来る。 ・つどいの補助金年間6万円の制約がきつ過ぎる。食事にも使いたい。高齢者のゴミ出しに困っている。町内が動かざるを得ない。市役所が来て、いい方法を教えてほしい。 ・教育制度に問題があるのでは。ボランティアの教えがないのでは。価値観が違うのでは。ボランティアをすることは、自分のためにやっている。大人になって、ボランティアをしても動かない。ボランティアを子どもの時から教えてほしい。 ・個人情報のことを学習している。市役所との関係が薄い。事務局をやっているのは社会福祉協議会だが、他市町は市が事務局をやっている。 ・県内外の大会に参加すると事務局の社協が同行しない。市が事務局であれば、研修などで市所有のバスを利用することができる。社協が事務局のため、市との関わりが薄くなる。全国大会でも役員が同行している場合がある。
--	---

令和 3 年 11 月 30 日

越前市議会議長 様

教育厚生委員会 委員長 三田村 輝士